

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句：動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。(コリント信徒への手紙 I 15:58)

保育目標：	0歳児	・色々な物事に興味をもち、繰り返し試してみようとする。
	1歳児	・周りの保育者や友だちとやりとりを楽しんで、のびのび過ごす。
	2歳児	・やってみたいことを思いきり楽しむ。簡単な身の回りのことをやってみようとする。
	3歳児	・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。身のまわりにある秋を見つける。
	4歳児	・友だちと一緒に遊ぶ中で楽しさや難しさなどを味わい、心をかよわせる。
	5歳児	・友だちと時や場を共有して遊ぶ。季節や自然を感じ、五感を使って楽しむ。

夏も終わりに近づき、2学期になりました。先日の『きらめくいのちのギャラリー』は、ご覧頂けましたでしょうか？動画配信とはなりましたが、子どもたちの今がお伝えできていればと思います。これからも子どもたちの日々の生活から様々な“表現のたね”をお伝えしていきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

ある日、ひよこ組のA君が、室内の壁やついたてを使って上手に伝い歩きをして遊んでいました。「掴む、摘む」が楽しい時なのでたまたま掴まった空気清浄機の取っ手の部分に興味を示し、しゃがみ込みました。しばらく引っ張って遊んでいたA君は、上から出てくる空気にも興味があるようでしたので、一緒に遊ぶことにしました。空気清浄機では以前も乳児クラスで遊んだことがあり、出てくる空気に紙（特にお花紙のような薄い紙）が浮かぶ様子が子ども達の好奇心をくすぐる遊びです。A君がどのような反応をするのか？と私もわくわくしていました。破った新聞紙を上に乗せて、紙がぶかりと浮かんで落ちる様子を見て、一瞬目を見開くA君。こちらを見て、「あっ！」と指を指して自分の思いを伝えてくれます。私も「あれ？なんだろうねえ」と言いながら、もう一度のせてみます。「おっ！」と、驚きこちらを見ることを何度か繰り返すうちに、今度は少し笑うA君です。でも、A君が興味を示したのは、「跳んでいく紙ではなく“落ちていく紙”でした。落ちると紙はなぜか同じ壁との隙間に挟まり、それに気づいたA君はこちらを見て「んっ。」と指差し、破れた新聞紙を拾い、ぎゅうぎゅう押し込んで「う～ん。」と言います。一緒にやろうかな？とっていると、“ビリビリ遊び”を思い出したのか、新聞紙を力いっぱい引っ張り、「う～っ！（できない～）」とまた訴えたり・・・その目はとてもキラキラとしていて、もっと見て！こんなことしているよ。という気持ちが伝わってくるものでした。

A君は、私の予想とは違う事に関心を示し、またその遊びは次々と変化していきました。自分で発見して自分から物に関わることが楽しいAくん。新しい発見をする度に、何に興味を示したのだろう？次は、何をしようとしているのかな？と、A君の思いを汲み取って関わるうちに、私自身も心を動かされました。私と目が合い、思いが通じ合うたびにA君の表情がどんどん変化し、面白がっている様子が伝わってきました。また、少し前までは、特定の保育者でないと不安になっていたAくんを、担当の保育者は、充分に受けとめ、じっくりと寄り添ってきました。今のA君の姿から、安心できる居場所や関係が出来る子どもは自然と動きだし、自分の色々な思いを表すようになるのだな。と、感じています。

乳児から幼児へと成長していく過程で、子どもたちは“やりたい”という気持ちを充分に受けとめられる時間を積み重ねてありのままに自己表現ができるような力が育っていくのだと思います。

私たちは、一人ひとりのそのような姿に出会えるように、これからも心の動きに寄り添い、関わり、一緒に喜んでいきたいと思えます。